
[成果情報名] 春出しヒペリカム鉢物の適品種と育苗方法

[要約] 冬季ヒペリカム鉢物には品種「エクセレントフレアー」と「ピンキーフレアー」が適し、前年の 8 月に挿し木繁殖した 1 年生苗を露地育苗し、1 月下旬に定植すれば、夜間最低気温 15℃、暗期中断処理 4 時間(22:00 ~ 2:00)の条件下で栽培することで 4 月下旬出荷が可能である。

[キーワード] ヒペリカム鉢物、品種、育苗

[担当部署] 花き部・花き栽培チーム

[連絡先] 092-922-4958

[対象作物] 花き・花木

[専門項目] 栽培

[成果分類] 新技術

[背景・ねらい]

新規の切り花花木ヒペリカム (*Hypericum androsaemum*) は、魅力的な実の形と多彩な果色から、鉢物化することによって新たな鉢物需要を喚起する品目として注目されている。本種の切り花生産における開花調節技術については、暗期中断 4 時間の電照処理によって開花を促進できることを明らかにした(平成 16 年度成果情報)。しかし、鉢物化するに当たっての適品種、育苗方法が未確立である。そこで、ヒペリカム鉢物生産のための適品種、育苗方法を明らかにする。(要望機関名：なし)

[成果の内容・特徴]

- 1 . ヒペリカム鉢物の冬季生産には「ピンキーフレアー」、「エクセレントフレアー」が側枝長、着果枝率および枝当り着果数において優れ、適品種である。(表 1)
- 2 . 「エクセレントフレアー」は、露地で育苗すると株当り側枝数が増加するとともに、開花時の側枝節数が減少し、収穫時期が早くなる(表 2)。
- 3 . 「エクセレントフレアー」では、春出しの苗は 1 年生苗が 2 年生苗より生育がやや劣るものの、品質的に十分な生産が可能である(表 3、図 1)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 「母の日」向け出荷の商材として活用できる。
- 2 . 4 月下旬出しにあたっては夜間最低気温 15℃、暗期中断 4 時間(22:00 ~ 2:00)とする。
- 3 . 低温遭遇していない苗では側枝数が減少し、草姿も乱れるため注意が必要である。

表1 ヒペリカム鉢物 1月出し栽培における品種特性¹⁾

品種名	最長側枝長	総側枝数 (A)	着果枝数 (B)	着花枝率 (B/A)	総着果数 (C)	枝当り着果数 (C/A)	収穫日 ²⁾	総合評価 ³⁾
	cm			%	個/鉢	個/枝		
ロイヤルフレアー	19.4	6.3	3.8	64.0	24.0	3.8	1/10	×
キングフレアー	15.9	2.9	1.9	83.3	6.1	2.1	1/11	×
アイビーフレアー	19.2	5.0	3.2	60.3	8.7	1.7	1/16	×
ピンキーフレアー	27.7	3.3	2.6	78.8	14.7	4.5	1/18	
エクセレントフレアー	25.7	3.7	2.8	65.5	16.8	4.5	1/21	
ミスティックフレアー	13.8	3.6	3.0	75.7	18.7	5.2	1/24	×
ハニーフレアー	32.4	3.1	1.2	38.7	9.5	3.1	1/28	×
スカーレットフレアー	52.3	4.6	0.2	4.3	8.0	1.7	-	×

注)1.調査日 2005年2月3日

2.収穫日はほぼ全ての花が結実した日

3.× 鉢物には不可、鉢物可

4.耕種概要 挿し木時期2004年8月5日、定植 10月1,4,5日、電照 10月12日(摘心時)から試験終了まで暗期中断4hr (22:00~2:00)、加温 10月12日より最低夜温15

表2 育苗場所がヒペリカムの生育に及ぼす影響¹⁾

育苗場所	側枝長	側枝節数	側枝数/株	側枝数/鉢	着果数/側枝	着果数/鉢	収穫日
	cm						月/日
露地 ²⁾	24.5	6.3	3.0	6.8	2.2	15.0	5/25
15 温室 ³⁾	21.9	8.9	2.0	4.4	4.0	17.5	6/11
有意性 ⁴⁾	NS	**	**	*	**	NS	**

注)1.2005年6月23日調査 供試品種 エクセレントフレアー

2.2005年3月9日まで露地で管理、3月9日定植15 加温、3月30日摘心

3.夜間最低気温15 の温室内で管理

4.検定により、**は1%水準、*は5%水準、NSは有意差なし

5.耕種概要 挿し木時期2004年8月5日、定植時期2005年3月9日、摘心方法 2cm以上の1次側枝の基部2節を残して3月30日に摘心、電照 3月9日(定植時)から試験終了まで暗期中断4hr(22:00~2:00)、加温 3月9日(定植時)から4月20日まで夜間最低気温15

表3 苗の種類がヒペリカム鉢物の生育に及ぼす影響¹⁾

苗の種類	最長側枝長	総側枝数 (A)	着果枝数 (B)	総着果数 (C)	枝当り着果数 (C/A)	品質評価 ²⁾	収穫日 ³⁾
	cm						
1年生苗	21.8	7.1	5.5	51.1	7.2	3.7	4/29
2年生苗	22.6	9.0	7.1	63.9	7.1	4.2	4/27

注)1.2005年5月9日調査 供試品種 エクセレントフレアー

2.1 劣る~ 5 優れる

3.収穫日はほぼ全ての花が結実した日

4.耕種概要 挿し木時期 1年生苗は2004年8月5日 2年生苗は2003年8月4,5日、育苗場所 露地、定植時期2005年1月20日、摘心 定植1ヶ月前、電照 暗期中断4hr (22:00~2:00)、加温 夜間最低15



図1 苗の種類とヒペリカムの生育(品種: エクセレントフレアー)

[その他]

研究課題名: ヒペリカム鉢物化技術の確立

予算区分: 経常

研究期間: 平成16年度(平成15~16年)

研究担当者: 松野孝敏、國武利浩、坂井康弘、黒柳直彦、谷川孝弘、巢山拓郎